



2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(非連結)

2024年10月31日

上場会社名 ヤスハラケミカル株式会社
コード番号 4957 URL <https://www.yschem.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安原 禎二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営統括本部長 (氏名) 原田 桂子
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 2024年11月29日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 0847-45-3530

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	7,227	14.3	909	534.5	763	37.6	550	18.2
2024年3月期中間期	6,323	4.8	143	37.9	554	22.9	466	10.7

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	60.02	
2024年3月期中間期	48.95	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	26,818	20,254	75.5
2024年3月期	27,223	19,897	73.1

(参考)自己資本 2025年3月期中間期 20,254百万円 2024年3月期 19,897百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		6.00		6.00	12.00
2025年3月期(予想)				6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,392	9.1	1,545	126.9	1,433	22.2	1,017	74.5	112.08

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	10,839,663 株	2024年3月期	10,839,663 株
期末自己株式数	2025年3月期中間期	1,763,938 株	2024年3月期	1,615,858 株
期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	9,180,120 株	2024年3月期中間期	9,523,805 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当中間決算に関する定性的情報(3)業績などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間貸借対照表に関する注記)	8
(中間損益計算書に関する注記)	8
(中間キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(会計方針の変更に関する注記)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する中で、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、資源、エネルギー価格の高騰、円安の影響などによる経済の減速が懸念される状況が続きました。加えて不安定な世界情勢の影響により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社が関係しております粘着・接着・香料・電子材料・ラミネート業界におきましては、原材料価格・エネルギー価格の高騰、製品価格競争等により、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような経済情勢のなかで、当社といたしましては、市場や顧客ニーズの変化を的確に把握し、高付加価値製品の開発、国内外の新規顧客の開拓及び取引先との関係強化に積極的に取り組み、販売の拡大に努めてまいりました。また、原材料の高騰や為替の影響を受けるなかで生産の合理化・効率化をはかり、利益の確保に努めてまいりました。

この結果、当中間会計期間の経営成績は、売上高7,227百万円（前年同中間期比14.3%増）、営業利益909百万円（同534.5%増）、経常利益763百万円（同37.6%増）、中間純利益550百万円（同18.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

・テルペン化学製品

粘着・接着用樹脂においては、自動車部品用途の変性テルペン樹脂の好調に加え、土木用途及び工業用途のテルペンフェノール樹脂が好調に推移したことにより増収となりました。化成品においては、香料分野及び木工用途のワックスが低調に推移した一方、電子材料分野及び塗料用途の化学品が好調に推移したことにより増収となりました。この結果、当事業全体の売上高は5,425百万円（前年同中間期比15.0%増）、営業利益1,234百万円（同69.9%増）となりました。

・ホットメルト接着剤

ホットメルト接着剤においては、食品用途の押出グレード及び包装用途の汎用ホットメルト接着剤が好調に推移したことにより増収となりました。この結果、当事業全体の売上高は1,540百万円（前年同中間期比11.9%増）、営業利益116百万円（前年同中間期は営業損失90百万円）となりました。

・ラミネート品

ラミネート品においては、光沢化工紙用ラミネートフィルムが好調に推移したことにより増収となりました。この結果、当事業全体の売上高は261百万円（前年同中間期比13.5%増）、営業利益4百万円（同117.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間会計期間末の資産につきましては、前事業年度末に比べ404百万円減少し26,818百万円となりました。これは主に、仕掛品、製品、現金及び預金が増加した一方、原材料及び貯蔵品、売掛金の減少によるものであります。

負債につきましては、前事業年度末に比べ761百万円減少し6,564百万円となりました。これは主に、長期及び短期借入金の減少によるものであります。

純資産につきましては、前事業年度末に比べ357百万円増加し20,254百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び同等物（以下「資金」という。）は5,455百万円となり、前事業年度末に比べ190百万円の増加となりました。

当中間会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、1,692百万円（前年同中間期は442百万円の使用）となりました。これは主に、税引前中間純利益の計上、棚卸資産の減少、売上債権の減少による資金の獲得によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、401百万円（前年同中間期は172百万円の獲得）となりました。これは主に、無形固定資産の取得及び有形固定資産の取得による資金の使用によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、925百万円（前年同中間期は990百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済及び自己株式の取得による資金の使用によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年4月30日に公表いたしました2025年3月期の通期の予想を修正いたしております。

詳細につきましては、本日(2024年10月31日)公表いたしました「2025年3月期第2四半期(中間期)業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,315	5,505
売掛金	2,754	2,511
製品	2,559	2,753
仕掛品	2,144	2,352
原材料及び貯蔵品	6,678	5,942
その他	355	309
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	19,804	19,373
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	763	745
機械及び装置（純額）	426	370
土地	2,745	2,745
その他（純額）	932	1,046
有形固定資産合計	4,868	4,907
無形固定資産	317	330
投資その他の資産		
投資有価証券	1,443	1,393
繰延税金資産	262	261
その他	529	555
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	2,232	2,207
固定資産合計	7,418	7,445
資産合計	27,223	26,818
負債の部		
流動負債		
買掛金	439	531
短期借入金	1,916	1,700
未払法人税等	159	212
前受金	5	8
賞与引当金	144	169
その他	850	676
流動負債合計	3,516	3,299
固定負債		
長期借入金	2,949	2,399
退職給付引当金	410	404
役員退職慰労引当金	444	455
その他	5	5
固定負債合計	3,809	3,265
負債合計	7,326	6,564

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,789	1,789
資本剰余金	1,729	1,729
利益剰余金	17,101	17,596
自己株式	△967	△1,069
株主資本合計	19,652	20,045
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	244	208
評価・換算差額等合計	244	208
純資産合計	19,897	20,254
負債純資産合計	27,223	26,818

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	6,323	7,227
売上原価	5,119	5,333
売上総利益	1,203	1,893
販売費及び一般管理費	1,060	984
営業利益	143	909
営業外収益		
受取利息	29	37
受取配当金	8	6
保険解約益	88	—
為替差益	254	—
その他	43	26
営業外収益合計	424	70
営業外費用		
支払利息	10	8
為替差損	—	205
手形売却損	1	2
その他	0	1
営業外費用合計	12	217
経常利益	554	763
特別損失		
固定資産除売却損	0	—
投資有価証券売却損	1	—
特別損失合計	1	—
税引前中間純利益	553	763
法人税、住民税及び事業税	74	195
法人税等調整額	12	16
法人税等合計	87	212
中間純利益	466	550

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	553	763
減価償却費	299	141
受取利息及び受取配当金	△37	△44
支払利息	10	8
為替差損益(△は益)	△213	176
保険解約損益(△は益)	△88	—
投資有価証券売却損益(△は益)	1	—
固定資産除売却損益(△は益)	0	—
売上債権の増減額(△は増加)	△237	242
棚卸資産の増減額(△は増加)	△844	333
前渡金の増減額(△は増加)	47	72
仕入債務の増減額(△は減少)	104	91
未払又は未収消費税等の増減額	199	44
その他	△252	△50
小計	△457	1,778
利息及び配当金の受取額	38	42
利息の支払額	△10	△8
法人税等の支払額	△13	△120
営業活動によるキャッシュ・フロー	△442	1,692
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△232	△111
無形固定資産の取得による支出	△68	△259
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	0	—
投資有価証券の償還による収入	100	—
保険積立金の積立による支出	△23	△28
保険積立金の解約による収入	395	—
その他	2	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	172	△401
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△933	△766
自己株式の取得による支出	—	△103
配当金の支払額	△56	△55
財務活動によるキャッシュ・フロー	△990	△925
現金及び現金同等物に係る換算差額	213	△176
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,046	190
現金及び現金同等物の期首残高	6,377	5,265
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,330	5,455

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間貸借対照表に関する注記)

該当事項はありません。

(中間損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
荷造運賃	166百万円	185百万円
賞与引当金繰入額	43百万円	45百万円
役員退職慰労引当金繰入額	11百万円	11百万円
退職給付費用	12百万円	12百万円

(中間キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
現金及び預金勘定	5,380百万円	5,505百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	△50百万円	△50百万円
現金及び現金同等物	5,330百万円	5,455百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	テルペン化学製品	ホットメルト接着剤	ラミネート品	計	
売上高					
外部顧客への売上高	4,717	1,376	230	6,323	6,323
セグメント間の内部売上高又は振替高	48	60	—	109	109
計	4,766	1,436	230	6,432	6,432
セグメント利益又は損失(△)	726	△90	2	638	638

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	638
全社費用(注)	△494
中間損益計算書の営業利益	143

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	テルペン化学製品	ホットメルト接着剤	ラミネート品	計	
売上高					
外部顧客への売上高	5,425	1,540	261	7,227	7,227
セグメント間の内部売上高又は振替高	62	51	—	114	114
計	5,488	1,592	261	7,341	7,341
セグメント利益	1,234	116	4	1,355	1,355

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,355
全社費用(注)	△445
中間損益計算書の営業利益	909

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。